

— 役員会報告 —

《平成17年度日本気象学会北海道支部役員会報告》

1 平成17年度第1回理事会

(「細氷51号」108頁で報告済)

2 平成17年度第2回理事会

(1) 日 時：平成17年10月4日（火）15時00分～16時30分

(2) 場 所：札幌管区気象台 防災連絡室

(3) 出席者：濱田支部長、中井常任理事、伊藤理事、人見幹事、原幹事（気象台）
藤吉常任理事、山崎常任理事、遊馬理事、川島幹事長、藤原幹事（北大）
松岡常任理事、中田幹事、網蔵幹事（気象協会）

(4) 議 事

ア 平成17年度第1回支部理事会報告

平成17年度第1回支部理事会要旨について事務局から報告があり、了承された。

イ 平成17年度支部事業報告（中間報告）

平成17年度の支部事業の実施状況について事務局から報告された。

（ア）平成17年度北海道支部総会開催報告

6月3日（金）13時00分から北海道大学百年記念会館大会議室において開催され、通常会員出席15名、委任状35名 計50名

通常会員60名の1／2以上で議事はすべて承認された。

（イ）平成17年度第1回研究発表会及び第2回研究発表会開催予定について

6月3日（金）13時40分から北海道大学百年記念会館大会議室において開催され、発表題数7題、出席者35名。

第2回研究発表会は12月 8日（木）札幌管区気象台で開催予定。

（ウ）第23回夏季大学気象講座開催報告

7月26日（火）～27日（水）にかけて札幌市青少年科学館（第1日目）、日本気象協会北海道支社（第2日目）で開催され参加者21名。

施設見学は、札幌市青少年科学館（第1日目）、2日目は台風第7号接近のため場所を管区気象台から気象協会に変更したため中止。

担当から、参加者が減っているため、宣伝や増加に協力することとした。「広報さっぽろ」を見てきている人が多い、空きがあれば聴講したい職員は正規の申し込んでいただきたいとの発言があった。

（エ）平成17年度北海道支部「気象講演会」について

10月8日（土）、稚内市総合文化センターにおいて開催される旨の報告があった。後援機関は、稚内市、稚内市教育委員会、稚内開発建設部、北海道宗谷支庁、NHK旭川放送局、北海道新聞社稚内支局。

ポスター、チラシ、予稿集の印刷枚数及び配布状況、広報活動が報告された。

（オ）支部機関誌「細氷」51号の刊行

発行部数：400部、9月28日納品された。

10月1日アルバイトを雇い梱包・発送した旨報告。

(カ) 中間決算報告について

9月30日現在の中間決算が報告された。

(キ) 北海道支部ホームページ運用状況

開設時から現在までの運用状況が担当から報告された。

コンテンツを増やすか変更する予定はないかとの意見あり、良いアイデアがあればお願いしたいとのこと。

(5) その他

ア 平成18年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の公募について
平成18年度は応募しないこととした。

イ 平成18年度気象講演会について

来年の理事会で決定する事とした。

ウ 平成19年北海道で開催する全国大会について

場所だけ確保する事とし、山崎理事にお願いする事とした。

3 平成17年度第3回理事会

(1) 日 時：平成18年3月16日（木）14時00分～16時40分

(2) 場 所：北海道大学 エンレイソウ 第2会議室

(3) 出席者：濱田支部長、中井常任理事、伊藤理事、人見幹事、原幹事（気象台）
藤吉常任理事、山崎常任理事、遊馬理事、川島幹事長（北大）
松岡常任理事、網蔵幹事（気象協会）
若原会計監査（総合情報センター）

(4) 議事

ア 平成17年度第2回支部理事会報告（議事録）

平成17年度第2回支部理事会要旨について事務局から報告があり、了承された。

イ 平成17年度支部事業報告

平成17年度の支部事業のうち、第2回支部理事会以降の実施状況について事務局から報告され了承された。

(ア) 気象講演会

10月8日13時から稚内総合文化センターにおいて開催された。参加者は82人で、稚内における講演会としては参加者が多かった。

(イ) 第2回支部研究発表会

12月6日13時30分から札幌管区気象台大会議室において開催された。発表題数は5題（北大2、気象台3）、参加者32人。

(ウ) 特別気象講演会

開催なし。

(エ) 支部機関誌「細氷」51号の刊行

印刷・発行は9月30日、発行部数は400部。

(オ) 支部理事会

第1回 平成17年5月27日（水）札幌管区気象台 防災連絡室

第2回 平成17年10月4日（火）札幌管区気象台 防災連絡室

第3回 平成18年3月16日（木）北海道大学 エンレイソウ

(カ) 平成17年度支部予算収支報告（中間報告）

3月6日現在の収支について報告され了承された。

ウ 平成18年度支部事業計画（案）

平成18年度支部事業計画（案）について検討を行った。

(ア) 支部総会

6月中旬の予定で13時から。場所は北海道大学百年記念会館大会議室の予定。

(イ) 支部研究発表会

第1回 支部総会に引き続き行う。13時40分から。

第2回 管区気象研究会2日目の午後に行う。12月中旬、札幌管区気象台大会議室の予定。

(ウ) 第24回気象講座「新しい気象」

7月下旬の2日間を予定。場所は、第1日目が札幌市青少年科学館、第2日目が札幌管区気象台。

(エ) 気象講演会

開催の方法について検討した。

各地方気象台では平成18年度防災気象講演会を開催する方向で検討中、4月以降に具体的な日時等が決まると思われる。一方、平成18年秋に気候講演会（気象庁主催、日本気象協会共催、日本気象学会後援）を札幌管区気象台で企画する予定。これらのいずれかとの共催にする方法があることが提案された。

議論の結果、防災気象講演会との共催で検討し次回理事会で決めることとした。また、気候講演会については、（ホームページ等で）支部会員への案内を検討する。

(オ) 特別気象講演会

開催の予定は今のところない。

(カ) 支部機関誌「細氷」52号の刊行

「細氷」52号の目次（案）について、事務局から提案された。

(キ) 支部理事会

第1回 平成18年6月上旬予定 札幌管区気象台

第2回 平成18年9月予定 札幌管区気象台

第3回 平成19年3月予定 北海道大学

エ 支部ホームページの運用状況

運用状況が担当から報告された。配布資料の注釈として、コンテンツ別ヒット数ランキングは、ページ数の多い方がヒット数も多くなる旨述べられた。

オ 北海道支部25期役員選挙（案）

北海道支部25期役員選挙（理事7名、会計監査1名）について事務局から提案され、了承された。

選挙日程

支部役員選挙告示 平成18年4月10日

立候補者締め切り 平成18年4月24日

投票用紙発送 平成18年5月 9日

投票締め切り 平成18年5月29日

開票 平成18年5月30日 （開票後幹事会）

選挙管理委員会

選挙事務局：支部事務局

選挙管理委員：6名（北海道支部幹事）

開票立会人：常任理事に依頼

カ 2006年度日本気象学会奨励賞受賞候補者の推薦

2006年度日本気象学会奨励賞受賞候補者に気象庁稚内地方気象台の米川博志氏と吉田誠哉氏の2名の推薦があり、2月24日に本部に推薦書を送った旨、事務局から報告され了承された。

キ 事務局提案事項

(ア) 北海道支部規約改正 (案)

平成17年度から会員種別登録制度が開始され、全ての個人会員は通常会員か特別会員のいずれかに登録手続きされたため、北海道支部規約と北海道支部選挙規約の改正を行う案が事務局から示された。

※他の支部の状況を調べることとした。

(イ) 会員種別登録制度に伴う支部役員選挙及び支部総会等の案内方法の効率化

会員種別登録制度の開始に伴い、支部全会員に対してホームページ利用環境の有無と、郵送による案内（支部総会、支部役員選挙告示、支部研究発表会等）の希望の有無の確認を行いたい旨、事務局から提案された。

※この提案は一時棚上げすることとした。

(ウ) 支部機関誌「細氷」発送作業時のアルバイトの雇用

支部機関誌「細氷」発送作業時にアルバイトを雇用することについて事務局より提案され、了承された。

ク その他

(ア) 平成19年度秋季全国大会の会場候補について

山崎常任理事から会場候補として、ガトーキングダムサッポロが挙げられ、施設について説明がなされた。

※ガトーキングダムサッポロを候補としないこと、北海道大学か札幌コンベンションセンターで今後考えることを確認した。

(イ) 役員の異動について

事務局から濱田支部長と中井常任理事の異動について報告された。

《平成18年度日本気象学会北海道支部役員会報告》

1 平成18年度第1回理事会

(1) 日 時：平成18年6月6日（火）14時00分～16時45分

(2) 場 所：札幌管区気象台防災連絡室

(3) 出席者：濱崎支部長、横山常任理事、伊藤理事、人見幹事、原幹事（気象台）
長谷部常任理事、藤吉常任理事、川島幹事長、藤原幹事（北大）
桃井常任理事、網蔵幹事、中田幹事（気象協会）
若原会計監査（総合情報センター）

(4) 議事

ア 第25期支部役員選挙結果報告

第25期支部役員選挙の結果について、選挙管理委員会の川島委員長から、選挙管理委員会の構成、4月12日の告示から5月31日の開票まで日程どおり実施したこと、開票結果などが報告された。

開票結果

投票総数：112票、有効投票数112票、無効投票数0票、白票投票数0票

【理 事】

遊馬芳雄109票、伊藤道男106票、長谷部文雄105票、濱崎雅憲106票、
藤吉康志111票、桃井和好107票、横山博文108票 以上当選
三浦郁夫1票、四宮茂晴1票、松村崇行1票、長谷川昌樹1票、太田幸雄1票、
山崎孝治1票

【会計監査】

若原勝二112票 当選

イ 第25期支部常任理事・支部長の選出および幹事の指名について

第25期支部理事の互選により、濱崎理事、長谷部理事、藤吉理事、桃井理事、横山理事が常任理事に選ばれた。また、常任理事の互選により濱崎常任理事が支部長に選ばれた。濱崎支部長により、網蔵 真、川島正行、中田琢志、原 朋憲、人見 豊、藤原正智が幹事に指名され、幹事の互選により川島幹事長を選出した。

ウ 平成18年度役員業務分担（案）

平成18年度の役員業務分担（案）について事務局から提案があり、了承された。

25期支部役員の業務分担

総 括：支部長	濱崎 雅憲	（札幌管区気象台）
研究発表：理 事	遊馬 芳雄	（北海道大学）
企 画：理 事	横山 博文	（札幌管区気象台）
講 演：理 事	長谷部文雄	（北海道大学）
幹 事	網蔵 真	（気象協会北海道支社）
細水編集：理 事	伊藤 道男	（札幌管区気象台）
幹 事	藤原 正智	（北海道大学）
気象講座：理 事	藤吉 康志	（北海道大学）
幹 事	中田 琢志	（気象協会北海道支社）
電子情報：理 事	桃井 和好	（気象協会北海道支社）
事務局：幹 事	人見 豊	（札幌管区気象台）
幹 事	原 朋憲	（札幌管区気象台）

エ 平成17年度第3回理事会報告（議事録）

平成17年度第3回理事会の要旨について事務局から報告され了承された。北海道支部第25期役員選挙の日程について、選挙の告示が本部からの名簿到着が遅れたため、4月12日になったことが補足された。

オ 平成17年度支部事業報告

平成17年度の支部事業の実施状況について事務局から報告され了承された。支部ホームページの運用状況について網蔵幹事から補足された。

カ 平成17年度支部決算報告

平成17年度の支部決算について事務局から報告があり了承された。

キ 平成17年度支部会計監査報告

平成17年度の支部会計の監査について、若原会計監査から報告があり了承された。

ク 平成18年度支部事業計画（案）について

平成18年度支部事業計画（案）について検討を行い了承された。

（ア）平成18年度支部総会

6月14日（水）13時から、北海道大学百年記念会館大会議室。

（イ）支部研究発表会

第1回 支部総会に引き続き、13時40分から行う。

第2回 管区気象研究会に合わせて、12月に札幌管区気象台大会議室で行う予定。

（ウ）第24回気象講座「新しい気象」

平成18年8月1日・2日。場所は第1日目が札幌市青少年科学館、第2日目が北海道大学遠友学舎。第1日目は青少年科学館の、第2日目は北大低温研の見学を予定している。

（エ）平成18年度気象講演会

開催の方法について検討した。

釧路地方気象台では平成18年度防災気象講演会を開催するが、市民防災講座という形なので共催にするのはなじまないとと思われる。また、室蘭は他の講演会の予定があり、稚内は昨年実施したので、これら3気象台との共催を除外して考えることとする。

札幌管区気象台業務課が、北見で防災をメインとした講演会を実施する方向で調整をしている。また、平成18年10月7日（土）に気候講演会（気象庁主催、日本気象協会共催、日本気象学会後援）が開かれる。これらのいずれかとの共催にする方法が提案された。

気象講演会についてはさらに幹事会で具体案を検討し、理事会に提案することとした。講演会の旅費にからみ、旅費について、見直しの提案があった。

（オ）特別気象講演会

現在のところ開催の予定はない。

これまでには、大学に集中講義で来られた先生にお願いすることがあった。

気象庁から札幌管区気象台に出張して来られる方の講演とタイアップでもよいとの提案があった。

今年度は大学で集中講義がある場合や、気象庁から札幌管区気象台に出張で来るのがいる場合などに情報交換し、特別気象講演会の開催について検討することとなった。

(カ) 支部機関誌「細氷」52号の刊行

「細氷」52号の目次(案)について、事務局から提案された。「2 解説」については北大で、「7 気象業務紹介」については気象台で著者を探すこととした。

(キ) ホームページ運用

今年度も引き続き運用し、支部だより、支部機関誌「細氷」、気象講座、支部発表会等について掲載していく。

(ク) 支部理事会

第1回 平成18年6月6日 札幌管区気象台

第2回 平成18年9月予定 札幌管区気象台

第3回 平成19年2月予定 北海道大学

ケ 平成18年度支部予算(案)について

平成18年度の支部予算(案)について事務局から提案され了承された。

意見として、来年度はこの会計ではもたないので収入を増やすか支出を減らすかしなければならない、支部機関誌の経費くらいは支部会員から集めてはどうか等挙げられた。会計は、全国大会の残金をプールして、5年で徐々に取り崩す形が慣例となっているとの補足があった。

コ 平成18年度支部総会について

平成18年度支部総会次第(案)について事務局から提案され了承された。

平成17年度支部事業報告および平成18年度支部事業計画(案)については、藤吉理事から報告・提案することとなった。

サ その他事務局提案事項

(ア) 2006年度日本気象学会奨励賞候補者の推薦について

稚内地方気象台の米川博志氏と吉田誠哉氏の2名を候補として推薦したが、奨励賞候補者推薦委員会で推薦が見送られた旨事務局から報告された。

(イ) 秋季大会準備委員会の設置について

1回目の委員会を、第2回理事会の後開催することで確認した。委員は支部役員、全国理事、「天気」の北海道の編集委員、および北大の先生で構成する。北大からはシンポジウムに合わせて委員を選ぶ必要がある。また、シンポジウムは科研費に応募するため、出席者と場所を決める必要がある。会場については引き続き検討中。

(ウ) 各支部の規約について

今回の北海道支部役員選挙に伴い、他の各支部の規約を調べたところ、中部支部以外は支部会員全員から役員を選出していることがわかった。

今回の支部役員選挙は信任投票となったが、支部規約等には選挙が有効となる投票数についての規定がない。気象学会の法人格の維持とも関わる可能性があるので、有効投票数等について学会本部に確認をする必要があるとの意見が挙がった。

2 平成18年度第1回幹事会

(1) 日 時：平成18年5月31日(水) 14時00分～16時20分

(2) 場 所：札幌管区気象台 小会議室

(3) 出席者：川島、藤原、網蔵、中田、原、人見

(4) 打ち合わせ事項：第25期支部役員選挙の開票、平成18年度第1回理事会の議事内容の検討